

今後の行事予定

介護のお仕事体験のご案内

介護体験3日間コースに参加しませんか？

6月14日(水)・15日(木)・16日(金)

●時間／10:00～15:00 (昼休憩あり)

●場所／医療法人社団 永生会 永生病院

※保育利用可 ※昼食付 ※1日だけの参加でもOK

年齢
男女不問！

受講無料

基礎技術が
学べます！

自信を持って
働けます！

お問い合わせ

永生病院 看護部長室

TEL:042-661-7678



医療法人社団 永生会

理念：人々に質の高い、安心な、やすらぎにあふれた、リハビリ・マインドのあるヘルスケアサービスを提供します。

永生病院	〒193-0942	東京都八王子市栢田町583-15	TEL.042-661-4108
南多摩病院	〒193-0832	東京都八王子市散田町3-10-1	TEL.042-663-0111
永生クリニック	〒193-0942	東京都八王子市栢田町588-17	TEL.042-661-7780
クリニック0(ゼロ)	〒193-0943	東京都八王子市寺田町490	TEL.042-666-1556

●介護老人保健施設

イマジン	〒193-0942	東京都八王子市栢田町583-15	TEL.042-662-7000
マイウェイ四谷	〒160-0015	東京都新宿区大京町1-3	TEL.03-3355-0428
オネスティ南町田	〒194-0004	東京都町田市鶴間7-3-3	TEL.042-788-0373

●グループホーム

寿限無	〒193-0942	東京都八王子市栢田町590-4	TEL.042-662-6500
-----	-----------	-----------------	------------------

●訪問看護ステーション

めだか	〒193-0942	東京都八王子市栢田町513-13-1F	TEL.042-661-5080
とんぼ	〒193-0914	東京都八王子市片倉町440-2	TEL.042-632-6351
ひばり	〒193-0835	東京都八王子市千人町2-13-8-1F	TEL.042-649-6917
いるか	〒193-0364	東京都八王子市南大沢1-18-11-A103	TEL.042-659-2213
口笛	〒194-0004	東京都町田市鶴間7-3-3	TEL.042-706-8810

●居宅介護支援事業所

ケアプランセンター えいせい	〒193-0942	東京都八王子市栢田町583-15	TEL.042-662-7020
居宅介護支援事業所 片倉	〒193-0914	東京都八王子市片倉町440-2	TEL.042-632-6335
ケアプランセンター びあの	〒194-0004	東京都町田市鶴間7-3-3	TEL.042-706-8808

●八王子市高齢者あんしん相談センター

八王子市高齢者あんしん相談センター 片倉	〒193-0914	東京都八王子市片倉町440-2	TEL.042-632-6331
八王子市高齢者あんしん相談センター 寺田	〒193-0943	東京都八王子市寺田町137-4	TEL.042-673-6425

●病児保育室

はる	〒193-00832	東京都八王子市散田町3-8-10	アーデルKSハイム1F	TEL.042-663-0111 (南多摩病院 代表)
----	------------	------------------	-------------	-----------------------------

医療法人社団 明生会 セントラル病院

本院	〒150-0046	東京都渋谷区松濤2-18-1	TEL.03-3467-5131
分院	〒150-0045	東京都渋谷区神泉町25-1	TEL.03-3465-5131
松濤	〒150-0046	東京都渋谷区松濤2-11-12	TEL.03-3485-5131

●永生会協力会社

在宅総合支援サービス 十字会ケアステーション	〒193-0833	東京都八王子市めじろ台1-9-1	TEL.0120-537-0800
------------------------	-----------	------------------	-------------------

シャトルバス運行中

永生病院

▶ めじろ台駅

▶ 南多摩病院

▶ 西八王子駅

▶ めじろ台駅

▶ 永生病院

さまざまな永生会の機能を患者様・ご家族様・ご利用者様に余すことなく提供できればと考え、コールセンターを開設しています。



永生会コールセンター



0120-001-083

<http://eisei.or.jp/>



通信eiseiは、年齢や障害の有無に関係なく、多くの人が利用できるようにデザインされたフォント(ユニバーサルデザインフォント)を使用しています。

通信



e i s e i

地域と患者さまに、永生会の今をお届けする



特集1

新入職員紹介 — 新たな決意と想いに密着！ —

特集2

永生会の在宅サービスの今後

CONTENTS

- MESSAGE 医療法人社団永生会理事長 安藤高朗からのメッセージ
- 表紙について
- えいせいNEWS ●お知らせ
- 特集(特集1:新入職員紹介 特集2:永生会の在宅サービスの今後)
- 知って得するお話し ●医療と介護の今後
- 交流TOPIC ●あのかたこのかた ●今後の行事予定

75
2017.04

理事長

あんどう たかお

安藤高朗からのメッセージ

お家での生活に寄り添い、満足いただけるケアを目指します。

今号は在宅介護サービスを提供している十字会ケアステーションについてご紹介いたします。十字会ケアステーションはケアマネジャーからのケアプランに沿ってホームヘルパーがご自宅に訪問し入浴、排泄介助、身体介護、掃除、洗濯、調理などの日常生活全般のサポート事業に加え、車いすの方の送迎もできる介護タクシーや、福祉用具のレンタル・販売など幅広くサービスを展開している事業所です。

在宅介護サービスは、原則としてケアプランに沿って内容が立てられ介護保険制度に基づいて収益が決まります。このためご利用様やご家族様に望まれているサービスがあったとしてもスタッフは思うように対応できず、サービス範囲が制限されてしまうことがあります。そこで、ご利用者様にとって満足いただけるものであれば、介護保険の適用外であっても、より選択肢の多い全額負担介護サービスも取り入れた「混合介護」の提供が今後の在宅サービスにおいて重要な役割を担っていくと考えられます。

ただ、保険内と保険外の作業内容の明確な区分ができない、介護者の経済的負担が増えるなどの懸念事項も多いため、まだまだ浸透しません。混合介護が使いやすくなれば、より希望に合った適切なサービスが受けやすくなり、介護事業者にとっても運営面でメリットが出ると予想されます。十字会ケアステーションは、方針の変化やニーズに対応できる在宅サービス事業所として今後も介護サービスに努めていく所存です。

十字会ケアステーションは永生会グループの一員として、体調が急に悪くなった時の対応や施設での経過観察、リハビリなど医療・介護のサポートなど、在宅介護サービス以外にも生活援助に対応できる体制をご用意しております。生活の中でちょっとしたこと、不安なことがありましたら、気兼ねなくお申し付けください。

医療法人社団永生会理事長 安藤高朗

Blog安藤たかおの見聞録 <http://ameblo.jp/ando-takao/><https://www.facebook.com/takao.ando.395>

表紙について

その人らしい生活や体験につながるサービスを

永生会スタッフが患者様、利用者様のために提供する旅行企画「できる旅」より。普段外出の少ない方へのきかけ作りや交流の場の提供など、その人がその人らしい生活や体験ができるよう様々な工夫や企画が成されています。

永生会は今後も幅広い在宅関連サービスを生かした企画に挑戦していきます。

第2回 総合防災訓練



3月11日、南多摩病院にて地域合同で災害訓練が行われました。職員だけでも100名以上が参加するこの訓練。今回は八王子市内の医師会をはじめ消防署や市役所等の行政、JR東日本の職員、さらに近隣の大学など地域全体が関わる訓練を行いました。発生した災害から自分たちの病院は自分たちで守る意識を職員全員で強く持とうという願いを込め、毎年この日に訓練を行っており、メディアにも掲載されました。地域にとって南多摩病院が災害時に心強い存在でいられるよう、今後も努めてまいります。

お知らせ

みなみ野病院 建設情報2

2016年9月の地鎮祭から半年が経ち基礎工事がほぼ終了しました。今月、病室の内装モデルルームが作られ、利用される方にとってどのような設備が望まれるか、建設工事と合わせてプロジェクトメンバーによる飽くなきミーティングと調整が行われています。現段階での病院のサービス内容やコンセプトはホームページにも掲載いたします。引き続きこの誌面においても進捗情報を報告してまいります。



※内装は今後変更される場合があります。



特集1

新入職員紹介 — 新たな決意と想いに密着! —

今年度も永生会にはたくさんの仲間が増えました! 大きな可能性を持った永生会の新人たち。どうぞよろしくお願いいたします!

新入職員の意気込みの一部をご紹介します!



内山 菜 理学療法士

患者様やスタッフの気持ちを汲み、お互いに本音で伝え合えるような良い関係を作っていきます。

自分を厳しく律して、常に120%で走り続けるつもりで業務に取り組んでいきます!

自分に甘い一面を永生会で克服し、「あなたに看てもらって良かった」と言われるような看護師を目指します。

永生会の研修を通じて、全力で取り組むことの大切さを実感。人に頼られる医療スタッフとなれるよう努めます!



竹内 崇博 正看護師



寺島 里騎 作業療法士



北村 灯麗 正看護師

永生会は様々な学びのステージがあることが特長です。たくさんの体験や失敗を通じて多くのこと学び、本人にしかできない医療や介護サービスを身につけて欲しいと思います。

特集2

永生会の在宅サービスの今後

訪問看護ステーションの立ち上げや地域活動の展開から永生会の在宅医療の基盤を作ってきた加藤公恵在宅ケアセンター長と、3月から新たに永生会の一員となった、神奈川県湘南なぎさ診療所で患者3000人規模の在宅医療を展開してきた中村哲生副本部長。永生会の在宅医療の今後を担う二人にインタビューしてきました。

永生会 法人本部 副本部長

永生会 在宅総合ケアセンター長

中村哲生 × 加藤公恵

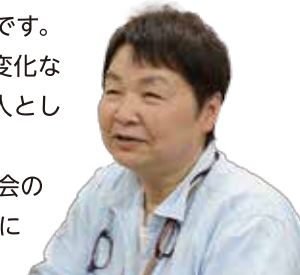
永生会の在宅医療は平成11年に訪問看護ステーションの第一号、とんぼが作られたのがきっかけです。開設当時から看護師だけでなくリハビリスタッフも入っており、それぞれが得た利用者様の要望や変化などを共有して忘年会イベントやカラオケなど、ひとりひとりが望むことの実現に努めていました。人として、人同士がつながって今に至る。それが永生会の在宅医療サービスの特徴だと思います。

一方で課題とされてきたのは訪問診療。なかなか定着しなかった。ここがさらに強化されると永生会の在宅医療はもっと展開できますね。今後はスタッフ側にとっても働きやすい環境、仕組み作りが重要になってくるのかなと思います。



加藤さんの言う通りスタッフ側にとっても働きやすい環境づくり、そしてチーム能力を上げていくことは組織にとって大事なことです。在宅医療はひとつの職種だけでは形になりません。チームとなって患者様の想いと合わせたサービス提供を目指すものです。患者様が一番やりたいことができるようにするのが在宅医療マインドですからね。さらに言うと他の施設との連携、行政や社会資源を含めた「地域」でやっていく仕組みも考えておく必要があります。

また、医療スタッフもそれぞれが想いを持っているので、希望する取り組みやサービスを形にしていける内部のシステム作りも僕の今後の大きな業務だと考えています。



最新の在宅医療の取り組みとして現在、永生クリニックでは訪問診療サービスの拡充と、医療関係者への在宅勉強会の定期開催を行っています。街づくりを通じた永生会の在宅医療の今後に注目です。

税金が戻るかも!? セルフメディケーション税制について。

2017年1月1日から、特定の医薬品購入に対する新しい税制「セルフメディケーション税制（医療費控除の特例）」が始まりました。セルフメディケーション税制は、きちんと健康診断などを受けている人が、特定の成分を含んだOTC医薬品（薬局・薬店・ドラッグストアなどで販売されている一般用医薬品）の年間購入金額が「合計1万2,000円」を超えた場合に適用される制度です。自分自身で軽い体の不調を市販されている薬などで手当てすることは、健康や生活の意識改善などに役立つだけでなく、国の医療費の軽減にもつながります。日本一般用医薬品連合会や厚生労働省のホームページにもセルフメディケーション税制について詳しく載っていますのでご参照ください。

●日本一般用医薬品連合会：
知ってトクする セルフメディケーション税制



●厚生労働省
セルフメディケーション税制について



このロゴマークが目印です！

ケア・バルめじろ

4月15日に「第2回ケア・バルめじろ」が開催されました。在宅介護サービス事業所のやさしい手と十字会ケアステーションが主催で、ケアに関わる人たち同士の交流を広げることを目的としたコミュニティです。今回、永生会はお手伝いとして会場提供と参加者集めを担当しました。

参加された方々の所属は地域包括支援センター、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、ケアプランセンター、介護老人保健施設など、多岐にわたっており、職種もケアマネジャー、リハビリテーション職、ホームヘルパー、相談員、渉外活動など様々です。

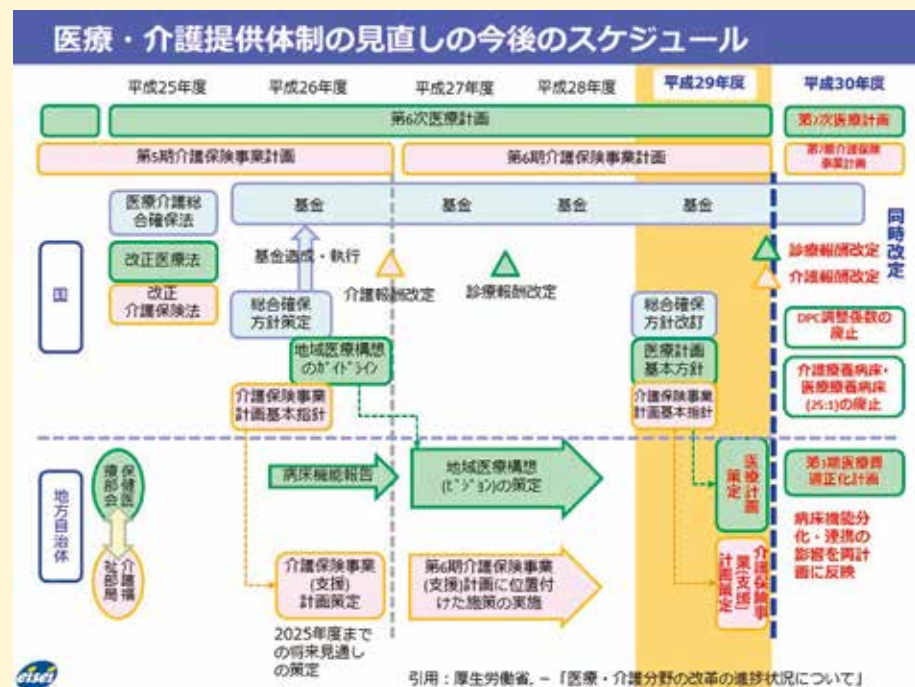
医療と介護のより良い連携を強めるために、普段から話し合える場づくりとして泥臭く実践しているのがこの「ケア・バルめじろ」の特徴と言えます。定期的開催する予定ですので、ご興味のある方は参加してみてください。



いま、医療・介護業界で話題の「惑星直列」とは？

診療報酬は2年に一度、介護報酬は3年に一度改定されます。つまり、6年に一度、報酬内容の同時改定が行われることになります。そして、来年2018年はこの6年に一度の同時改定の年にあたります。加えて、この同時改定だけでなく、第7次医療計画、第7期介護保険事業計画、第3期医療費適正化計画などが始まり、さらには、介護療養病床と25:1医療療養病床の廃止、2003年に導入されたDPC調整係数の廃止など、多くの変化が起こります。このように、さまざまな変化が同時期に重なることから、これらを惑星直列と呼んでいます。2018年は、今後の医療・介護施策における大きな節目となりそうです。

この惑星直列は偶然に起きたわけではなく、今後、加速度的に増加するであろう慢性期医療や在宅、介護のニーズ



に対応するために、医療・介護提供体制が見直されてきたことによって起こりました。この大きな変化に向けて、医療施設や介護施設ではさまざまな方策を考えていく必要があります。永生会においても、昨年9月に地域包括ケア病棟を開設し、地域のニーズにマッチしたサービスを提供すべく、様々な取り組みを行っていく予定です。

次号からは、これら惑星直列の一つ一つの変化について、触れていきたいと思っています。

気になる人にスポットを当てて紹介するこのコーナー。

今号は巻頭メッセージでも紹介しました、十字会ケアステーションの塩塚さんをご紹介します。

しおつか のりひこ
十字会ケアステーション 所長 塩塚紀彦

決まりごとにとらわれず、望まれるサービスの提供を目指す。

●この業界に入ったきっかけは何ですか？

以前はアミューズメント関連の一般企業に勤めていました。医療とは関わりはなかったのですが、当時のお客様には高齢者の方や車椅子の方も多かったため、業務の延長で介護職関連の資格を取ったのがきっかけですね。

●十字会ケアステーションの強みは何ですか？

身体介護サービスに強いところです。今後の行政の施策にて、生活支援者としての講習を受けて認可された人であれば、介護ヘルパー資格等が無くても生活支援サービスができるようになってきます。その中で、身体介護を得意とするケアステーションは重宝されると思います。介護度だけでなく体型の違いだけでも助の仕方は大きく変わってきますので、対応力の高いスタッフがいることで差別化ができると思います。

●今後の展望を教えてください。

制度やマニュアルだけにとらわれず、望まれる介護サービスを提供できるステーションにしていきたいと考えています。介護保険外のサービス対応も可能な混合介護のシステム化に努め、ご利用者様もスタッフも満足度の高い事業所にしていきたいです。

Profile

- 資格：福祉用具専門相談員、福祉用具プランナー、福祉用具選定士、福祉住環境コーディネーター2級、ヘルパー2級
- 趣味：バンド（バンド名、訪問バンドステーションのベース）、スポーツ

